

伝統的建造物の五重塔の模型を作ったお二人の方に 制作の動機や苦勞したお話などをお聞きしました。

日光東照宮の五重塔を制作した 村上 哲弘さん（安沢・77歳）



◆この五重塔を作るきっかけは？
元氣な時に何か残しておこうと、七十歳になった時に決心し、仕事に關連する建築物の模型を作ることにしました。

◆苦勞したことは？
写真や参考になる書籍を見て、図面を書き

◆この五重塔をカバールだけで間に合わせるため、小さなカンナ類は自分で作り始めました。実際に作り始めて、傾斜角度や下から見るとバランスや見栄えするよう何度も変更しました。

◆今後の計画はありますか？
この五重塔をカバーし、周りはアクリルかガラスを使って中の五重塔が見えるような六角堂を作ろうと計画しています。

◆塔の概要
大きさ：実物の10分の1
高さ：3m 初階屋根幅：90cm
◆使用材料
初階 ケヤキ 2階 ヒノキ 3階 杉桐
4階 さわら 5階 青森ヒバ 九輪
◆製作日数 455日
(1~3月の寒い時期と仕事の合間)
開始：平成21年1月 完成：平成27年3月

趣味で矢板を盛り上げる

法隆寺の五重塔を制作した 矢板 利一さん（下伊佐野・65歳）



◆この五重塔を作るきっかけは？
五十四、五歳の頃、定年後のライフスタイルを考えるようになったので、そこで何か建築物の模型を、しかも誰にも真似されないような物を作ろうと目的を絞りました。このことは、子どもの頃から物作りが好きだったことが影響したと思います。

◆苦勞したことは？
九輪や水煙の部分で、最初は彫刻を試みましたがうまくできないので、粘土で形を作り、耐熱シリコンの型に金属を流しこんで作りました。また、全体のバランスや屋根のそり具合等は試行錯誤の末、やっと自分として満足できるものになりました。

◆今後の計画はありますか？
五重塔の七十五分の1の小さいサイズのものを作り上げました。今は二十分の一のものを手掛けています。これからも身体が動く限り物作りを続けたいと思っています。

◆今後の計画はありますか？
五重塔以外にはどんなもの？
神棚や祠を作り、祠は地元の神社に奉納しました。これは自分が存在していた証だと自負しています。

◆塔の概要
大きさ：実物の35分の1
高さ：90cm 重量：約20kg
◆製作日数
図面は現職中に作成。
材料の加工、組み立てに約7ヶ月。

記者の感想
お二人の作品は“お見事！”という言葉以外ありません。ぜひ一度見に行ってみてはいかがでしょうか？(T・M)